



メネットプログラム(1)

東日本大震災の行方不明者が家族の元に帰れるよう願って作られた

いつまでも忘れない
思いを込めて

かえりびな

「桜」の間に常設しています。ぜひお立ち寄り下さい。



『かえ(還)りびな』とは「還暦を迎えた女性に贈ると 60 年分の人生をリセットした新しいスタートが出来る」との言い伝えがあり、自らの還暦と同時に箱根町の茂村ひとみさんが作り始めたものです。

東日本大震災後、『かえりびな』を見て、帰ってこない人がいっぱいいるんだよなあ、とのつぶやきを茂村さんが聞いたことがきっかけで、まだ見つからない大切な人の姿を人形に重ね、被災地にかえりびなを贈ったり、仮設住宅や集会所等で作り方を教えたのを始まりとし、その後有志で「仙つかえりびなの会」(代表、松崎翠さん)が結成され現在に至っています。

未だ行方が分からない 2600 人近くの方々に思いを寄せ、かえりびなを通して、「おかえりなさい」の願いと、いつまでも忘れない思いを伝え続けて行きたいと願って作られています。

今回は 520 体の展示となりますが、この5倍近くの数の方々が未だ行方不明ということを中心に留め、一日も早くご家族の元に帰れますように祈っていただければと願うものです。